

|   |    |       |     |
|---|----|-------|-----|
| 学級数   | 14 | 児童生徒数 | 455 |
| 校内委員会   |    |       |     |
| (1)名称<br>学校業務改善委員会  |    |       |     |
| (2)協議・検討内容<br>・学校業務における本校の課題とそれへの具体策の検討<br>・取組の成果と課題の検討   |    |       |     |
| (3)成果と課題<br>・学期に1回開催することができた。<br>・学校業務改善委員会の基本的な方針や具体策を全教職員への浸透を確実に図る必要がある。   |    |       |     |
| 1. 実践校の取組内容(計画書の取組項目を記載)  |    |       |     |
| 学校ルールブックの作成 電子ファイルの共有 児童生徒のデータベースの共有<br>出席統計作成ファイルの作成 校務・業務の効率化とIT化 学校事務の改善について   |    |       |     |
| 2. 取組の具体的内容   |    |       |     |
| 生徒の基本となるデータベースを作成し、生徒に関する基本的なデータを集約し、さらにデータベースから基本的な資料が作成できるようにして、教職員の事務処理の効率化を図る。<br>生徒指導に追われる現状があるので、アンケート等における集約作業の見直し、校務文書のデジタル化、記録簿のIT化等を行うことで、教職員の事務の軽減を図る。<br>校務分掌の報告文書やデータを一元化するために、学校ルールブックを作成し、誰もが活用できるようにして、教職員の事務の軽減を図る。          |    |       |     |
| 3. 取組の成果  |    |       |     |
| については、ほぼ集約できて、かなり活用できるようになった。<br>については、できた。少しではあるが、事務の軽減ができた。<br>原案を作成した。<br>備品の配置一覧表の作成ができた。<br>通知簿・指導要録の電子化ができた。<br>教職員への連絡体制の整備ができた。<br>・全教職員のアカウントの取得と設定による一斉送信ができるようになった。<br>・全教職員のこどもあんしんネットの加入と連絡体制をつくった。<br>・ウィンドウズカレンダーによる掲示板を共有できた。 |    |       |     |
| 4. 取組の際の工夫点や留意点   |    |       |     |
| 教職員への連絡体制を整備するために、3点に取り組んだが、掲示板は特に効果的であった。  |    |       |     |
| 5. 各学校での取組活用のためのアドバイス   |    |       |     |
| 単年度では難しいので、長期的に組織的に取り組む必要である。<br>学校業務改善委員会を定期的開催したり、全教職員への周知徹底のための時間確保をしたりすることが難しい。   |    |       |     |
| 6. 取組後の職員の主な意見  |    |       |     |
| 学校業務改善へ新しく取り組むことは、手間であるが、少しずつ改善をめざす理由が理解できるようになってきた。  |    |       |     |
| 7. 次年度の学校業務改善に係る取組について  |    |       |     |
| 一年間の取組では難しいので、継続的に取り組みたい。特に学校業務改善委員会を2ヶ月に1回程度開催し、校内研修を実施することでより教職員の意識を高める取組をしていきたい。   |    |       |     |